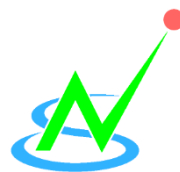




那須疏水旧取水施設（日本遺産）

令和4(2022)年度

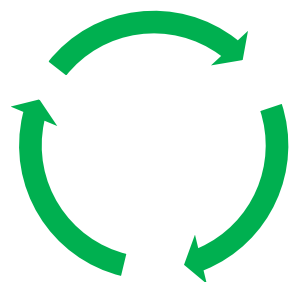
那須塩原市 市政運営方針



令和4(2022)年2月

那須塩原市長 渡辺 美知太郎

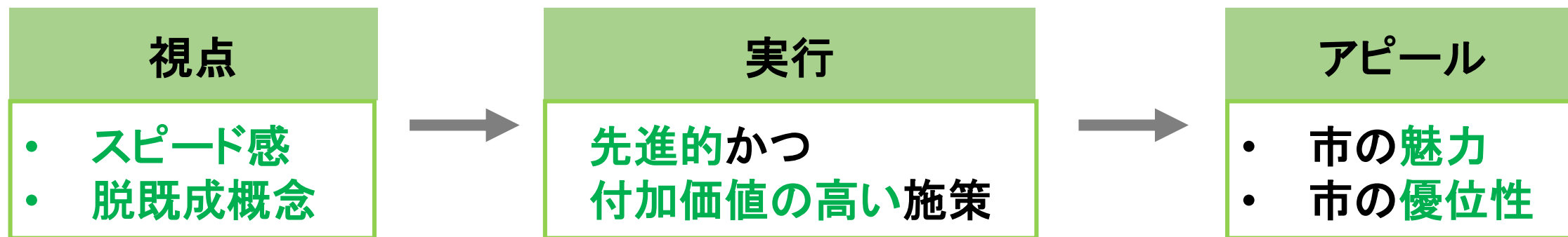
はじめに



市政運営コンセプト

持続可能なまちづくり

激動の時代下における施策推進に当たっての考え



決意

引き続き未来永劫に続く那須塩原市、那須地域の繁栄のために
全身全霊を捧げる所存

結論は

新型コロナウイルス感染症対策

がやはり最も重要な行政課題となった。

市の使命

将来の那須塩原市、那須地域を見据えた上で、
コロナ禍のピンチをチャンスと捉え、
ウィズコロナ、アフターコロナに向けた布石を打つこと

コロナ禍

ウィズコロナ
アフターコロナ

× ピンチ
○ チャンス

布石

将来の那須塩原市、那須地域へ



市民の安全・安心を守ることを最優先に、(1)新型コロナウイルスワクチン接種事業、(2)子育て世帯への臨時特別給付金事業に迅速かつ柔軟に対応

(1)ワクチン接種事業の主な実績等

- ✓ 県内初の職域接種相談センター開設
- ✓ 各業界・団体と連携した大規模職域接種の実施
- ✓ 土・日曜、休日や平日夜間での接種機会の提供



結果

- ✓ 若い世代の接種が高水準
- ✓ 県内14市の中で1回目接種率がいち早く7割の壁を突破

(2)子育て世帯給付金事業の主な実績

- ✓ 0歳から高校3年生までの子ども1人当たり10万円を支給
- ✓ 国における「子育て世帯への臨時特別給付金」の実施決定を受け、県内最速で12月14日から現金給付を開始



他自治体に先駆け、市独自の施策として新型コロナウイルス対策等を積極的に推進

事業実績

- ✓ 入湯税を原資とした旅館関係者に対するPCR検査事業（持続可能な観光モデル）
 - ・【今後】持続可能な観光の構築に向け、法定外目的税の検討
- ✓ 一般市民向けの格安PCR検査事業
- ✓ 感染症対策取組認証制度※1

第三者による評価

- ✓ 【**関東唯一**】「世界の持続可能な観光地TOP100選」に選出※2（令和3年10月）
- ✓ 【**県内初**】塩原温泉地区及び板室温泉地区が環境省の「ゼロカーボンパーク」に登録（令和3年9月）



感染症対策取組認証を取得した旅館



引き続き、日本一安全・安心な観光地を目指していく。

※1 専門家の助言をもとに策定した基準に基づき宿泊施設の感染症に対する安全性を認証

※2 国際的な認証団体「グリーン・デスティネーションズ」

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせ、オーストリア共和国トライアスロンチームの事前キャンプ受入れを行ったほか、県内唯一の「**共生社会ホストタウン**」の認定を受け、市独自の連携事業を実施

事業実績

- ✓ 市内児童生徒とオーストリアのパラリンピアンによるリモート交流会の実施
- ✓ 株式会社八芳園(東京都港区白金台)との連携事業等
 - 那須拓陽高等学校との共同によるオーストリア選手団のおもてなしメニュー開発
 - 八芳園がプロデュースする白金台のイベントスペース”MuSuBu”での農畜産品等のPRイベントの実施
 - 【県内初】八芳園とのパートナーシップ協定締結(令和4年1月)



オリパラの取組を一過性で終わらせることなく、レガシーを未来につなげていく。

✓ 外部有識者からの助言・提言を活用した施策立案制度の運用

- ・ 市政アドバイザー
- ・ DXフェロー

✓ ふるさと寄附における受入れ環境の充実

- ・ 受入れサイトの増設
- ・ 令和3年度寄附額※ 約5億1,400万円
(令和2年度実績比 +約1億6,500万円)

※令和3年度は4月～12月末現在の実績だが、既に過去最高の寄附額。

サイトの増設に加え、ラインナップの拡充も実施



- 外部有識者からの助言や提言を参考にしながら、社会情勢の変化などに伴う新たな行政課題に対して、柔軟かつ円滑に対応できる持続可能なまちづくりを推進。
- ふるさと寄附は、貴重な財源として有効活用を図り、那須塩原市の魅力の発信、地域振興に役立てていく。

令和4年度市政運営方針の基本的な考え方

各種統計情報を踏まえた現状分析

	指標	状況	分析結果
地域経済	栃木県北地域の有効求人倍率	<ul style="list-style-type: none"> 【令和2年1月～12月平均】 0.96 【令和3年1月～12月平均】 1.02 	求職に対して求人は応えられている状況
	栃木県内基準地価の全用途における北那須各3市町の平均変動率 (令和2年・令和3年の7月1日現在比較)	<ul style="list-style-type: none"> 那須塩原市 ▲1.7%→▲1.3% 大田原市 ▲1.3%→▲1.1% 那須町 ▲2.7%→▲2.4% 	回復傾向
人口減少	東京都人口（総務省人口移動報告）	<ul style="list-style-type: none"> 1年半にわたって継続的に転出超過* 	継続的な人口流出
	市の移住相談件数	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 203件 令和2年度 355件 	約5割が東京都 約8割が1都3県(東京圏)

回復
基調

追い風

※令和2年7月から令和3年12月までの間で、令和3年3月と同年4月の進学・就職時の一時期を除いた場合。

- 那須塩原市における人口減少問題に関して、根本的な対策を打ち出す時期。
- 引き続きスピード感をもった感染症対策に取り組み、ウィズコロナ、アフターコロナにおける在るべき地域社会を見据えつつ、これまで以上に付加価値の高い施策を打ち出し、那須塩原市の魅力、優位性を強力にアピールしていく。

施策推進に当たってのキーワード

分散

東京一極集中から
地方分散への対応

- ✓ 那須塩原駅周辺を中心とした栃木県北地域における拠点づくり
- ✓ 市内各地への分散型での地域づくり

DX

デジタル化による新たな価値を
創出し、安心して便利な地域づくり

- ✓ 市民サービスの利便性の向上
- ✓ 行政の業務効率化と働き方改革
- ✓ 地域社会におけるDXの促進

ゼロカーボン

「環境といえば那須塩原」を目指す
地域のメリットを同時に創出

- ✓ 地域から脱炭素の取組
- ✓ エネルギーと経済の地域内循環
- ✓ 災害対応力の強化

「持続可能なまち 那須塩原市」の構築へ

令和4年度当初予算編成に当たっての基本方針



令和4年度一般会計当初予算案 総額 511 億円



感染症による危機を乗り越えるために必要な措置について引き続き講じていくほか、持続可能なまちとするために必要な諸施策について着実に取り組んでいくこととする。

令和4(2022)年度の主要事業①

◆新型コロナウイルス関連

- 新型コロナウイルスワクチンの円滑かつ迅速な接種に取り組む。

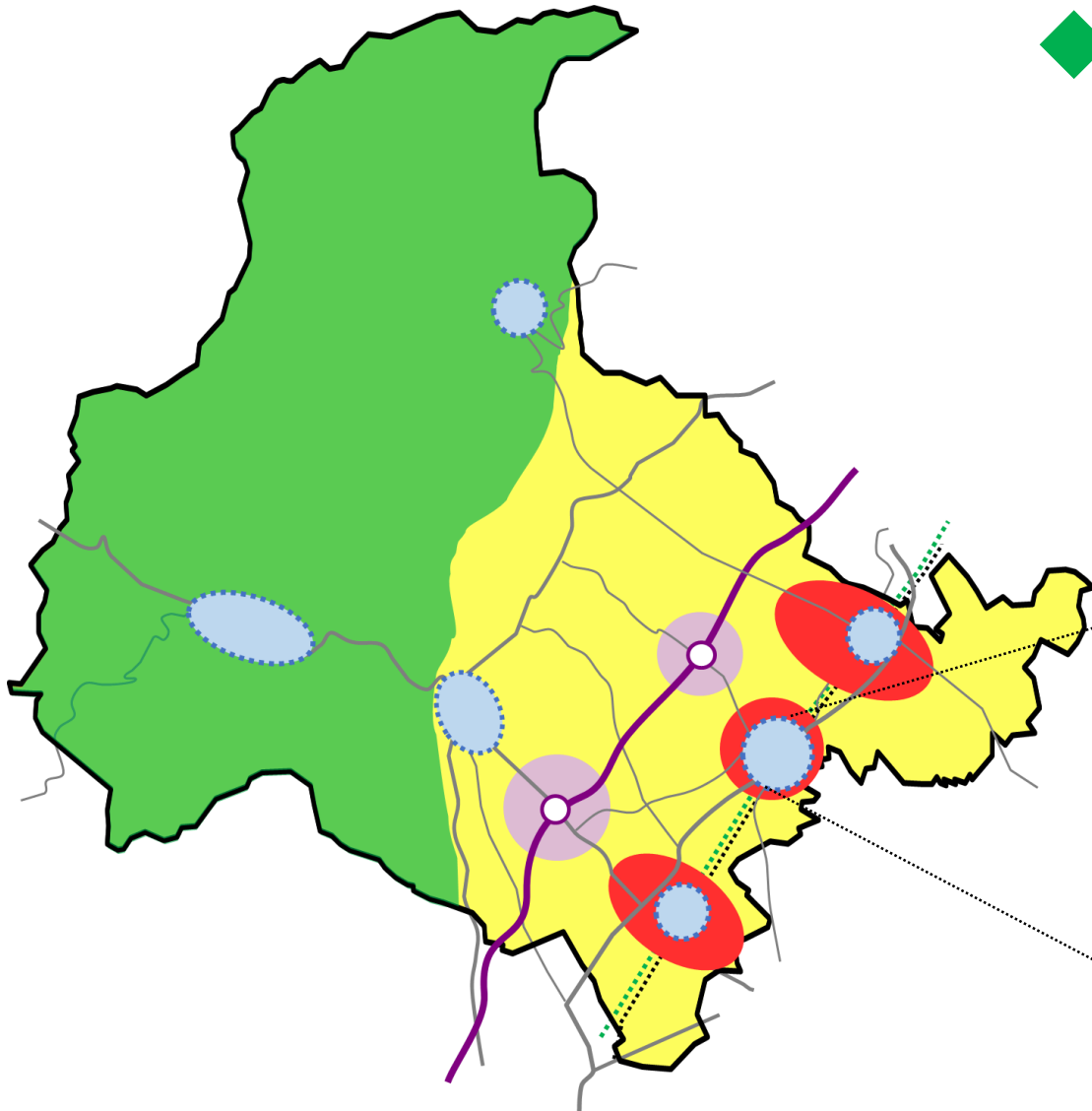


一般市民向け格安PCR検査事業も引き続き実施します。

令和4(2022)年度の主要事業②

◆分散関連

- 市内において公民館等を活用した行政窓口の分散化を進めるとともに、新庁舎建設を含め那須塩原駅周辺整備を推進し、県北地域の拠点づくりに取り組む。



県北地域の拠点づくりを進めていく那須塩原駅周辺エリア

令和4(2022)年度の主要事業③

◆DX関連

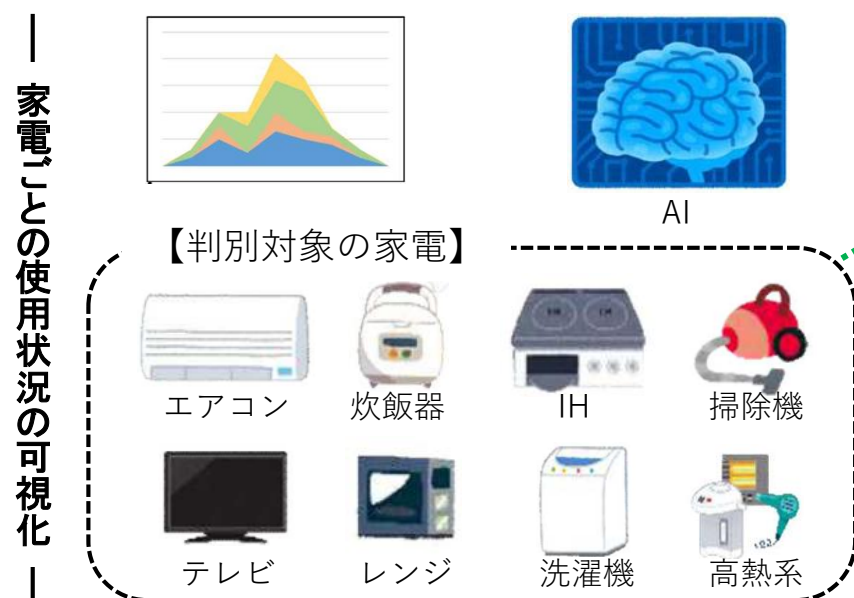
- 行政手続のオンライン化を見据えた
庁内ネットワークの再構築を行うと
ともに、デジタル技術を活用したフレ
イル予防や防災対策に取り組む。



DX × 行政手続



DX × 防災対策



DX × フレイル予防

令和4(2022)年度の主要事業④

◆ゼロカーボン関連

- 地域新電力会社の設立、青木地区におけるゼロカーボン街区の構築、指定避難所への自立・分散型エネルギー設備の導入に取り組む。



市役所塩原庁舎の太陽光発電



百村の小水力発電施設

令和4(2022)年度の主要事業⑤

◆教育・スポーツ関連

- 関谷小学校、大貫小学校、横林小学校、
 箒根中学校を一つにした施設一体型義務
 教育学校「箒根学園」の校舎を整備する。
- 「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」
 (8競技※)を開催する。



現関谷小学校校舎



令和3年7月に開催されたソフトテニスのプレ大会

※ 8競技の内訳

- とちぎ国体：正式競技…サッカー(少年女子)、ソフトテニス、馬術、ゴルフ、トライアスロン
- 〃 ：デモンストレーションスポーツ…キッズトライアスロン、さいかつぼーる
- とちぎ大会：正式競技…ボッチャ

令和4(2022)年度の主要事業⑥

◆インフラ・地域振興関連

- 県北の拠点づくりの一翼を担う都市計画道路3・3・4号東那須野東通り(JR駅東アンダー)を整備する。
- 「観光」、「食」、「農業」の発信拠点として、道の駅「明治の森・黒磯」再整備に取り組む。
- ONSEN・ガストロノミーウォーキングを西那須野地区で開催する。
- サテライトオフィス、ワーケーションなどにも対応した移住促進、企業誘致に取り組む。

道の駅「明治の森・黒磯」内に佇む、旧青木家那須別邸



むすびに

- ✓ 市政運営に当たっては、多くの市民、事業者の皆様の御理解、御協力を賜りました。改めて御礼申し上げるとともに、これからもその絆を何よりも大切にして市政運営に努めてまいります。
- ✓ 令和4年度は、私の市長在任期間の4年目となり、私の「持続可能なまちづくり」に係る取組について、一つの区切りを付ける年ともなります。
- ✓ 来年度は、集大成の年に位置付け、初心を忘れることなく、先人たちから引き継がれた素晴らしい財産を守りながらも、未来永劫に続く那須塩原市、那須地域の繁栄のために、市民並びに議員の皆様とともに力強く歩んでまいります。